

## 運動会を通して感じたこと

校長 相川 保 敏

今年度の運動会は、当初予定していた土曜日があいにくの雨となり、やむなく翌日曜日への順延となりました。日曜日は幸い天候も回復し、グラウンドの状態を見ながら慎重に判断を重ね、開始時刻を遅らせるとともに、一部プログラムを変更しての実施となりました。2年前の運動会も前日が雨で、運動会当日は快晴となりましたが、グラウンド整備に思いの外時間と労力がかかり、開始時刻が予定より大幅に遅れてしまいました。今年度は土曜日の夕方から水たまりの水をスポンジで吸い取る作業を進めておいたことで、整備時間が予定より15分早く終わりました。開始時間の変更によりご迷惑をおかけしましたが、子どもたちの待機時間を減らし負担軽減につながりました。

天候の回復は喜ばしいことでしたが、その一方で、晴れ間がのぞくと気温も上昇し、熱中症の心配も出てきました。学校側の対策に加えて、各ご家庭で子どもたちの水分の確保、体温上昇への対策等にご協力いただいたことで、幸いにも大きな体調不良もなく、全体を通して安全に終わることができました。

子どもたちの笑顔と元気な姿、真剣なまなざしと仲間を応援する温かい声グラウンドにあふれ、改めて「運動会ができて本当によかった」と心から思える一日となりました。

運動会は、ただ運動能力を競う場ではありません。準備や練習を通して、努力することの大切さ、仲間と協力することの喜び、そして最後まであきらめずやり抜くことの尊さを学ぶ場です。実際に、歯を食いしばって頑張る姿、声を掛け合いながら力を合わせる姿、学年を越えて応援する姿に、日頃の学校生活の中で育まれてきた個々の頑張り、絆や信頼関係が垣間見えました。特に表現運動では、子どもたちの表情はまぶしいほどに真剣で、これまでの練習の積み重ねと努力、そして互いを信頼する気持ちが伝わってきました。動きの美しさだけでなく、「みんなと一緒に気持ちを合わせて表現したい」という強い思いが、一つひとつの所作にあらわれていました。

そして、ぎりぎりプログラムに組み入れた6年生の徒競走は、6年生にとっては小学校最後の運動会での思い出となるとともに、トラックを走り抜ける6年生のかっこいい姿は下学年の6年生へのあこがれの気持ちをより高めたことでしょう。最高学年が後輩に残してくれたプレゼントの一つになったと思います。



雨天による予定変更にもかかわらず、応援に駆けつけてくださったご家族の皆さまの温かいまなざしや拍手は、子どもたちにとって大きな力となるとともに子どもたちの思い出にも深く残ることと思います。また、PTAの皆さまやパパ会をはじめとする有志の皆様にも多大なご協力をいただきました。受付から後片付けに至るまで、陰ながら支えていただいた皆さまの存在があってこそ、安心・安全な運動会を実施することができました。本当にありがとうございました。今後ともご支援ご協力をお願いいたします。

~~~~~  
さて、今月の生活指導のめあては、ルールについて考えようです。ルールは社会生活を円滑に営んでいく上で必要なものであり、みんなが安心して気持ちよく過ごすための「約束ごと」です。ルールを守るという姿勢は、自分もまわりも大切にしていこうとする態度に繋がっていきます。「ルールを守らないとなぜいけないのか」「どうすれば守ることができるのか」を考えることで、相手の気持ちを思いやる力が育まれていきます。ルールは自由を奪うものではなく、みんなが安心して自由に過ごすための土台です。「どんな場面でルールを守っていないのか」「どうしたら守ることができるのか」などルールを守る意味をご家庭でも一緒に考える機会を作っていただけたらありがたいです。